

様式 1

県立真壁高等学校【総合的な探究の時間計画】（令和 8 年度）

学校の教育目標

文武両道の校風の下、すべての教育活動をとおして、教養と豊かな人間性を培い、地域に広く貢献する人間をはぐくむ。

総合的な探究の時間の評価

目標と育成する資質・能力	学習評価	配慮を必要とする生徒への支援方法
<p>探究の見方・考え方を働かせ、地域や社会の人、もの、ことに関わる総合的な学習を通して、自己の在り方生き方を考える。また、協働的な活動を通して課題の発見と解決ができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。</p> <p>（１）探究の見方、考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し、解決していくための資質能力を育成する。</p> <p>（２）地域を探究することで、地域を取り巻く環境を理解する。</p> <p>（３）地域と協働し、地域に貢献できる取り組みを行う。</p> <p>（４）社会性や主体性、社会奉仕の精神や態度を養う。</p>	<p>「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の観点を踏まえ、以下の点に留意して学習評価を行う。</p> <p>（１）自分自身の周囲の事象から必要な課題を発見し、課題として認識できている。必要な課題と適切と思われる解決結果に向かって、解決の方法について考え、具体的な方策が計画できる。</p> <p>（２）実行した課題解決について、適切な評価を導き出し、さらによりよい方策について考えることができる。</p> <p>（３）計画した課題解決のための方策を集団または個人として実行できる。よりよい課題解決方法について、可能な方策を実行に移すことができる。</p>	<p>学習評価に関して配慮を必要とする生徒には、下記のように支援を行う。</p> <p>（１）読み書きに課題のある生徒が、資料をもとに調査したり読解する場合には、ICT ツールを活用して読み方を確認したり、言葉の意味を理解したりする環境を構築する。</p> <p>（２）コミュニケーションに課題がある生徒が、グループ内で、あるいは外部に向けて発表等をする場合には、事前指導を入念に行い、台本などを準備することも学習計画に含める。</p> <p>（３）その他、出身中学校やスクールカウンセラーなどと必要に応じて情報共有を行い、個に応じた達成課題を設定し、生徒にとって過度な負担にならないことを留意する。</p>

各学年における主な取組内容

「総合的な探究の時間」を課題研究等で代替している場合の科目名（課題研究 ※ 2・3 学年の農業・環境緑地科ならびに食品化学科の生徒のみ）

学年	主たる探究課題及び学習活動	外部との連携	育成を目指す生徒像
1 年	適切なコミュニケーションの取り方 ライフプランの作成 ライフプランの相互発表	出身中学校 保護者 等	自己を理解し、将来を見据えた学校生活を送ることができる。

様式1

2年	進路実現と関連させた自己分析なら びに企業調査 伝統工芸体験	地元企業 等	自己を理解し将来を見据えた学校生活を送ることができる。
3年	地元真壁町および真壁高校をよりよくするための課題設定 方策の考案、情報収集 方策の実施、およびその結果の発表	地域の企業 市役所 等	自身の周囲の事象から必要な課題を発見し、集団で協働して適切な方策を実施することができる。